



かながわベスト介護セレクト20 事業所紹介

社会福祉法人 富士美 高齢者総合福祉センター ヒューマン

事業所概要

サービス種類：介護老人福祉施設

管理者：施設長 森 弘樹

所在地：横須賀市佐島3丁目12番15号

従業員数：74名 (H30.10.1 現在)

人材育成のための取り組み

- ヒューマンには6つの委員会があります。①ケアの質を向上させ、内部研修会活動を推進させる委員会。②職員の労働・衛生環境や感染症対策を講じる委員会。③環境にやさしいエコ活動中心の委員会。④利用者のQOLを高め、効果を計る委員会。⑤内外の活動をアピールする委員会。⑥各委員会活動を通して他職種協同で人材を育成する目的を持つ委員会。などが、課や専門分野を超えて横断的に活動をしています。昨年度は介護の倫理感を育成し、気づきを促す取り組みや、間接介護事業を推進することによる業務の見直しと効率化を図り、人材不足を補う工夫を促進してきました。また、新人事考課表なども導入し、組織にとって必要な人を育ててまいりました。

処遇改善にむけた取り組み

- 当施設では、人事考課制度を導入して10年以上が経過いたしました。処遇改善加算の取得はもとより、「人を育てる」仕組みとして職員全体でキャリアパスコンセプトの再確認や、個人の目標を組織の力へと結びつけるためにあるこれらの制度を、あらためて確認するとともに、人事考課内容の見直しをして、新人事考課表を発表いたしました。職員の高齢化に伴う支援や、子育て環境の継続的な支援など。ワークライフバランスを考慮した支援と、柔軟な勤務・雇用形態。そして職員送迎を開始するなどをいたしました。新しい入浴設備や特浴機器の更新なども完了し、どんな方でも安心して働き続けられる環境を今後も推進してまいります。

選考会からひとこと

ご努力されている地域への貢献もさることながら、福祉サービスは提供する職員の力にかかっており、働きやすい環境づくりに努力されています。特に65歳までの継続雇用後、年齢にあわせて働く内容を調整して実施しているハウスキーパー、アテンダントの制度は先駆的であり評価します。

サービスの質の向上のための取り組み

- 平成29年度は、「経営基盤の強化」という法人目標を達成するために、ケアの質を高め“選ばれるサービス（稼働率の向上）”になるために事業所内において、①定年退職者の再雇用を推進し、間接介護職員を配備（高齢者雇用の助成金）。結果人材の確保を強化した。②援助者としての接遇力を向上するため、研修を強化。③防げる事故を減少させるため、ご利用者、環境、職員の3視点から事故発生の分析と検証及び対策を推進。④終末期においてご利用者及びご家族への十分な理解と、最後の時まで共に乗り越えた状況を振り返り、利用者の尊厳と、職員の観察力や倫理観を養う取り組みを推進。⑤横須賀市モデル事業（入浴サービス）を開始いたしました。

